

# 社協から 今月のお知らせ



守山市社協キャラクター  
 もりびー

## 5月12日は民生委員・児童委員の日

民生委員・児童委員の日は、大正6年5月12日、民生委員制度の前身である済世顧問制度を源としています。民生委員は、厚生労働大臣が委嘱する特別職の地方公務員(無報酬)で、全国に約23万人、守山市には162人います。地域に住む住民の一人として、生活上の困りごとや心配ごとの相談に応じ、必要な支援を受けられるよう、専門機関へつなぎます。

お気軽に相談してください(守秘義務あり)。

滋賀県民生委員・児童委員キャラクター「びわっ湖ミンジ」



### 【民生委員の主な活動】

高齢者世帯や赤ちゃん(3カ月・1歳児)のいる世帯などへの訪問、登下校時のあいさつ運動、高齢者・子育てサロンなどへの協力

地域の民生委員については、社協へお問い合わせください。

## 守山市社会福祉協議会

☎・☎(583)2923 FAX(582)1615

✉fukushi@moriyama-shakyō.or.jp



ホームページ

## 自治会の行事などに機器を貸し出します

焼きそばやたこ焼きの鉄板、輪投げなどのレクリエーション用品など、イベントで使うことができる機器を、市内の団体へ貸し出しています。借用申請は、借用希望日の属する月の3カ月前の1日からです。



レクリエーション用品

1台当たり100~500円の協力金が必要です。営利目的および個人への貸し出しはできません。詳しくは、ボランティア推進係へお問い合わせください。



イベント機器



貸出備品協力金

## ある社会福祉士のひとこと

### 命のバトン(救急医療情報キット)

命のバトンは、かかりつけ医や服用薬、緊急連絡先などの情報をプラスチックの筒に入れ、冷蔵庫に常備しておくものです。急病や災害時に救急隊員や近所の人がその情報を知ることができ、救急活動に役立ちます。



社協では、民生委員を通じてバトンの設置を進めており、現在、ひとり暮らし高齢者を中心に、1,720世帯に設置しています。設置を希望される人は社協へお問い合わせください。

## 調和を楽しむ建築美

佐川美術館「アートコラム」69

学芸員 佐川美術館 深井千尋



雑誌やウェブで旅行特集を見ていると、アートというテーマを必ず目にするようになりました。美術作品だけでなく、建築もアートの一分野として捉えられるようになり、建築を目当てに旅をする人も増えたように思います。

建築を鑑賞する際、建物そのものの美しさに関心が向きやすいですが、建築には、絵画や彫刻などの美術作品とは異なる視点で味わえる、独自の鑑賞ポイントがあります。それは、「周辺環境との調和を楽しむ」ところにあります。

佐川美術館の建築を例にしてみましょう。美術館は、対岸に比叡山・比良山を望む琵琶湖のほとりに建設されました。本を伏せたような形状の切妻屋根の緩やかな三角形は、遠くに広がる山々の景色に溶け込み調和しています。また、建物を囲むように配された水庭は、琵琶湖につながるかのように周囲の環境と一体化しています。

このように近年の建築は、事前の敷地調査に基づき、その土地の歴史や景観を踏まえて設計される場合が多いのが特徴です。建物そのものだけでなく、周辺環境にも目を向けてみると、デザインの意図するものが見えてきます。

現在建設中の市役所新庁舎は、繊細な木に包まれた温かみと親しみを生み出し、行きかう人々に「街道」と一体化した庁舎として、8月からの供用開始が予定されています。周囲の景観と調和しながら、街とともに歩みを深めていく建築の美しさに心を寄せていきたいと思えます。

※開館情報につきましては、ホームページでご確認いただくか電話【☎(585)7800】でお問い合わせください。